



Japan International
Association of
Lighting Designers

2021

IALD
JAPAN

ANNUAL
REPORT

Vol.07

一般社団法人
日本国際照明デザイナーズ協会
アニュアルレポート



Japan International
Association of
Lighting Designers

2021

IALD JAPAN

ANNUAL REPORT

Vol.07

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
アニュアルレポート
[2020年9月 — 2021年12月]

CHAPTER 01	1-1	代表理事挨拶	04
協会挨拶	1-2	協会設立の目的	04
 CHAPTER 02	 2-1	 総会	 06
活動報告	2-2	イベント 第4回 WEBINAR「全国で活動する若手照明デザイナー」	07
	2-3	第5回 WEBINAR「大阪のおっさんたち(その歴史と将来)」	07
	2-4	第6回 WEBINAR 『『ハルカの光』作者が読み解く、「これからの光」とは…?』	08
	2-5	第7回 WEBINAR 「IALD-Jメンバーアンケート結果報告 ここはどうなの? LED vol.1」	08
	2-6	Chase the Dark 2021	09
	2-7	のぞいてみよう! 照明デザイン vol.3	10
	2-8	コミュニケーションバー InaBar	11
	2-9	Enlighten Asia 2021 in Japan	12
 CHAPTER 03	 3-1	 委員会の概要と設置の目的	 22
組織運営	3-2	IALD Japan メンバーリスト	23
	3-3	IALD Japan News	26
	3-4	About IALD Japan	27
	3-5	世界のIALDメンバー	28
	3-6	入会案内	30
	3-7	第8期に向けて	31
	 3-8	 協賛企業	 32

CHAPTER 01

協会挨拶

1-1	代表理事挨拶	04
1-2	協会設立の目的	04

1-1 代表理事挨拶

一般社団法人 日本照明デザイナーズ協会(IALD Japan)の活動は2014年9月の発足から現在丸7年が過ぎ8年目に入っています。

2019年12月に発生したCOVID-19により世界中のあちこちで都市が封鎖され、東京オリンピック2020は2021年に辛うじて無観客開催されました。この100年に1度と言われる災害によって人との交流を断たれた長いトンネルの中、私たちは2021年11月10日-11日の2日間にわたり、IALD Japan主催の5回目の国際会議Enlighten Asia 2021 in Japanをオンライン開催しました。参加者が一堂に会して討論することは望めないが、このような時だからこそ照明デザインを未来に向けて発展させるヒントを得られるのではないか。IALD Japanのメンバーが一丸となって1年前から準備を整えた結果、「Lighting for New Normal」を探るイベントとして結実し、アジアをはじめとする世界の照明デザイナー、照明に関わる多くの方々と繋がることができました。

そのプログラムの一つ、IALD JapanのYouTubeで事前配信された3つのコンテンツは、アーカイブに納められたのち再配信されて後進の育成に役立てられることでしょう。イベント当日にZoom配信されたメインコンテンツであるConferencesを視聴した方々は、示唆に富んだ基調講演、新しい物の見方を発見できるディスカッション、ロックダウンでまとめが期限ギリギリになってしまった実情を伝えるプレゼンテーションビデオなど、密度の濃い充実した内容の国際会議に満足されたことでしょう。

エネルギーを浪費せず、光害をなくして美しく快適な夜間景観を作り上げていく。Enlighten Asia 2021 in Japanを終えて私たち照明デザイナーは、照明学会をはじめとする照明に関わる皆さんとも連携しながら、地球環境保護の視点を持って活動する必要性を改めて感じております。

共有する目標に向かって、今後も皆さまの益々のご指導とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会

代表理事 近田 玲子 Reiko Chikada

近田玲子

1-2 協会設立の目的

本協会は、日本並びに国際社会とのコミュニケーションを促進し、照明デザイナーの地位の向上を図り、光のデザインを通じて社会と文化の発展に寄与することを目的とします。

設立の目的を達成するために、次の事業を推進します。

1. 照明デザインの理念・役割・技術の研究と情報発信
2. 照明デザイナーの質的向上と育成のための研究・教育・広報事業
3. 照明に関係する機関・学会・団体等との連携および協力
4. 海外関係機関・団体等との交流および協力
5. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

CHAPTER

02

活動報告

2-1	総会	06
2-2	イベント	07
2-3	第4回 WEBINAR「全国で活動する若手照明デザイナー」	07
2-4	第5回 WEBINAR「大阪のおっさんたち(その歴史と将来)」	07
2-4	第6回 WEBINAR 『『ハルカの光』作者が読み解く、「これからの光」とは…?』	08
2-5	第7回 WEBINAR 「IALD-Jメンバーアンケート結果報告 ここはどうなの? LED vol.1」	08
2-6	Chase the Dark 2021	09
2-7	のぞいてみよう!照明デザイン vol.3	10
2-8	コミュニケーションバー InaBar	11
2-9	Enlighten Asia 2021 in Japan	12

2-1 総会

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 (IALD Japan) では、第7期に全3回の総会を開催し、各総会では以下の案件が決議・検討・報告されました。

新型コロナウイルスの影響で、定時総会を東京デザインセンターに集まった理事と各会員をオンラインで繋いだハイブリッド開催とし、臨時総会をオンライン開催といたしました。

<第7期定時総会>

- ・ 第6期事業決算報告と承認
- ・ 第7期事業予算案報告と承認
- ・ 監事改選：第7～8期の監事2名の任命
- ・ Enlighten Asia 2021 in Japan 企画進捗報告
- ・ IALD Japan 準会員の設定
- ・ 新会員の紹介

<第7期第1回臨時総会>

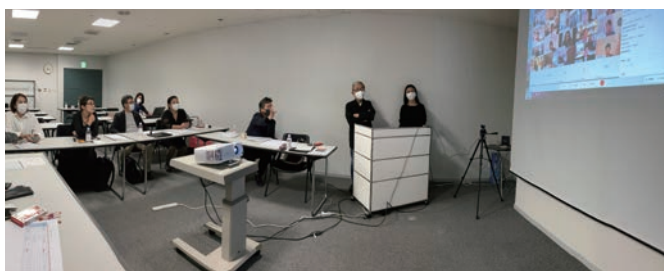
- ・ 第7期中間修正予算報告と承認
- ・ Lighting Fair 2021への企画協力報告
- ・ 新会員の紹介
- ・ Enlighten Asia 2021 in Japan 企画進捗報告

<第7期第2回臨時総会>

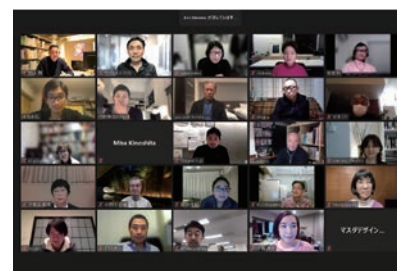
- ・ Enlighten Asia 2021 in Japan 企画進捗報告
- ・ 各委員会活動報告
- ・ 新会員の紹介
- ・ 本部人事報告

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
第7期総会開催スケジュール

2020年10月9日 定時総会	東京デザインセンター 8階会議室＋オンライン開催
2021年3月19日 第1回臨時総会	オンライン開催
2021年7月16日 第2回臨時総会	オンライン開催



第7期定時総会



第7期第2回臨時総会

2-2 Event [イベント]

第4回 WEBINAR「全国で活動する若手照明デザイナー」

第4回のWEBINARは「全国で活動する若手照明デザイナー」をテーマに、北海道エリアと九州エリアの若手照明デザイナー2名をパネリストにお迎えしました。福岡の仁設計の青木千春氏、北海道のKaori Endo Lighting Designの遠藤香織氏の紹介があり、普段は会員同士でもあまり聞くことのできない自己紹介やプロジェクトの話を伺うところからセミナーが始まりました。その後、モデレーター岡本賢氏(Ripple Design)の問いにパネリストのお二方が答える形でディスカッションへと進んでいきます。青木氏への「照明デザインの仕事をやる上で福岡や九州エリアならではのエピソードは？」との問いからスタートし、スウェーデン王立工科大学に留学されていた遠藤氏には「スウェーデンの照明デザインの学校ではどんなことを教わるのか？」などをお話いただきました。最後に、北と南では1時間ほど日照時間の差がある日本の各地域における自然光に対する感覚の違いについてディスカッションが行われました。お二方の話を聞いた岡本氏は、高温多湿のアジア圏ではすっきりとした昼白色や昼光色の高い色温度の光が好まれ、逆に冬季の寒さが厳しい北海道のような北国ではナトリウムランプのようなあたたかく感じる低い色温度の光が好まれる傾向にあると話し、都道府県による自然光に対する感覚の違いは季節や風土の違いが関係しているかもしれないと締めくくりました。



第4回 IALD Japan WEBINAR「全国で活動する若手照明デザイナー」

日時 2020年9月25日
モデレーター 岡本賢
パネリスト 青木千春、遠藤香織

会場 IALD Japan WEBINAR (オンライン開催)
主催 IALD Japan

2-3 Event [イベント]

第5回 WEBINAR「大阪のおっさんたち(その歴史と将来)」

関西における照明デザインのルーツや特徴を含めて歴史を紐解きながら、総会などでは知ることのできないパネリストたちの経歴や仕事の紹介を通して、関西にもこんな人がいるんだ！と知ってもらおうとWEBINARを開催。パネリスト3名の自己紹介からスタートし、今回のテーマである「大阪のおっさんたち」についてのトークが展開されていきました。関西における照明デザインのルーツを辿ると、バブル景気を迎える1985～1990年が創生期であり、首都圏で照明デザイナーや照明デザイン事務所が誕生するのが1990年辺りなので、この頃にほとんどの照明デザイナーの方がメーカーから独立しているところに大きな特徴があります。また、関西の照明デザイナーはヤマガワOBが多く、同社の出身者が照明メーカーを設立したり、照明専門店として独立したりと、関西の照明デザインを語る上でその存在無しには語れないと言います。現在IALD Japanに属するデザイナーの約43%が同社のOBまたはその子弟にある中で、かつてのその教育や仕事のやり方を今に引き継ぐべきものも沢山あるのではないのでしょうか。“温故知新”が今回の隠れたサブテーマでもあり、昔を知り新しさを考える機会になれば…と、あえて関西の照明デザイナーの歴史や環境を語ると共に、今一度照明デザインを考えてみることのきっかけになればと語り、3人で締めくくりました。



第5回 IALD Japan WEBINAR「大阪のおっさんたち(その歴史と将来)」

日時 2020年10月30日
モデレーター 松本浩作
パネリスト 水馬弘策、村岡治彦(欠席)、吉野弘恵、+影の声

会場 IALD Japan WEBINAR (オンライン開催)
主催 IALD Japan

2-4 Event [イベント]

第6回 WEBINAR 『『ハルカの光』作者が読み解く、「これからの光」とは…?』

ドラマ『ハルカの光』(全5話)の脚本を手がけた新進気鋭の作家矢島弘一氏と、IALD Japan理事の小西美穂氏に、ニューノーマル時代における“新たな光”との向き合い方を熱く語っていただきました。矢島氏は昔から、蛍光灯よりも自然光を好んだり、自分が気に入った照明や家具には“一般的なデザイン”とは異なる特徴があることを自覚されていました。「自分が明かりや光を意識して生活していることを制作陣は知らなかっただろうから、声をかけてもらえたことに何かの縁を感じた」という矢島氏。オファーが来た段階のプロットは、ハルカの光に対する意識が内向的に描かれていたそうですが、「光を見て背中を押された、という話にしませんか」と提案したという制作秘話を教えてくださいました。

『ハルカの光』は東日本大震災から10年の節目に合わせて企画されましたが、制作期間中にCOVID-19の世界的流行により、世間の関心事はどんどんコロナ関係へ。しかし、人々が暗闇の中にいることは同じ。光を見つけて背中を押され、前に進んでいくというテーマが反響を呼びました。「この時代だからこそ、もっと自宅の居心地が良くなるように照明や家具を探してみたい」と、この時代における新しい幸福の形についても話してくださいました。

第6回 IALD Japan WEBINAR
『『ハルカの光』作者が読み解く、「これからの光」とは…?』

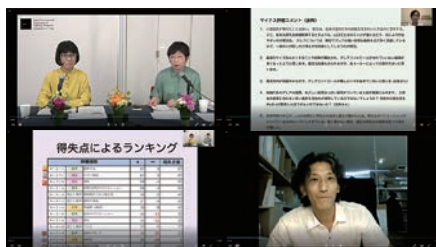
日時 2021年5月14日
モデレーター 小西 美穂
パネリスト 矢島 弘一

会場 IALD Japan WEBINAR (オンライン開催)
主催 IALD Japan

2-5 Event [イベント]

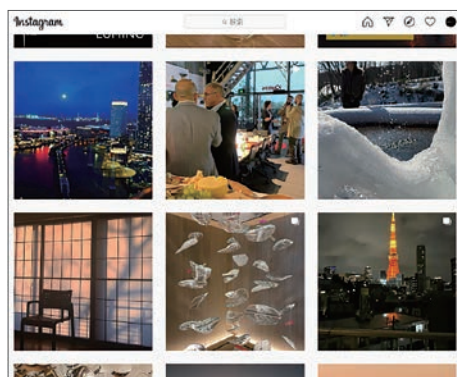
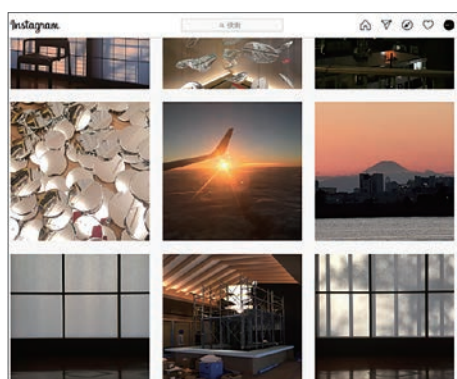
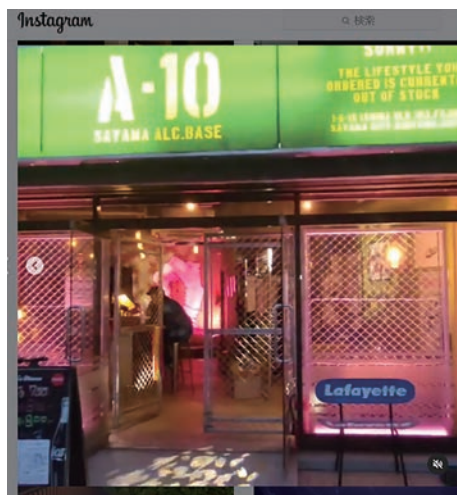
第7回 WEBINAR 「IALD-Jメンバーアンケート結果報告 ここはどうなの? LED vol.1」

東日本大震災を契機とし、LEDは飛躍的に進化を遂げて普及し、ハロゲンランプや白熱灯などの従来光源から置き換わりつつあります。現場で実際に活用しているからこそわかる、照明デザイナーの視点から見たLEDについて、さまざまな意見をご紹介します。飯塚千恵里氏(飯塚千恵里照明設計事務所)、角田尚法氏(maxview一級建築士事務所)、野澤寿江氏(近田玲子デザイン事務所)がモデレーターを務め、IALD Japanメンバーにも参加してもらう双方向形式での配信を実施しました。事前に実施されたアンケートではLEDの良い所・悪い所を得失点形式で評価。その結果、良い所では、3位「調色」、同率1位で「器具寸法」と「カラー演出」が高得点を獲得。ワーストは3位「器具のグレア」、2位「演色性」、1位「器具の交換」という結果になりました。また、LED照明について多くのメンバーが問題視しているのが「街路灯」の問題です。公共空間のものだからこそその制限があるとはいえ、日本における公共空間のデザイン性の低さは諸外国と比べても淋しいものと指摘されました。

第7回 IALD Japan WEBINAR
「IALD-Jメンバーアンケート結果報告 ここはどうなの? LED vol.1」

日時 2021年8月27日
モデレーター 飯塚千恵里、角田尚法、野澤寿江

会場 IALD Japan WEBINAR (オンライン開催)
主催 IALD Japan



2-6 Event [イベント]

Chase the Dark 2021

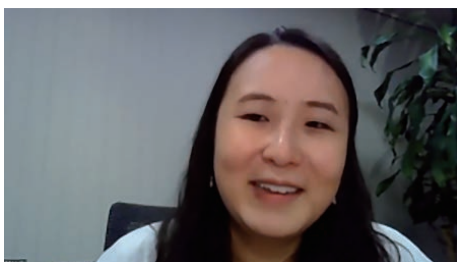
昨年に引き続いてCOVID-19パンデミックに伴う緊急事態宣言下での実施となりました。このイベントは各所での光の風景や現象を現地時刻でSNSにアップし時差ワールドツアーで世界を繋ぐ、と言う企画です。COVID-19パンデミック前までは、仲間や家族で集合して参加し、その光の中でのアフターパーティーもあったのですが、「集まることを避ける」というパンデミックレギュレーションの下、2020年はそれぞれがSNSにアップして巡る地球一周となりました。しかしその状況は、SNSにアップした写真の反応が感じられない、見えない、繋がりがリアルではない寂しさをアップ後に感じ、果たしてコミュニケーションなのか?と言う意見から、IALD Japanにおける2021年の開催はZoomにてそれぞれのライトアップをLIVEで繋ぐ形式としました。

参加者は日本国内のさまざまな環境、地域に身を置き、光という共通手段を使いながら、楽しい時間となりました。今年のテーマは‘acknowledge the power of light in human life’。さまざまな美しいシーンや、光の現象がアップされている中、筆者は、日常の生活の中にある飲食店空間が、非日常に追いやられながらも、楽しい日常の場所に戻ることを念頭に、人数制限しながら継続営業している姿勢を応援するという想いで、近所のよく行く「BAR」をライトアップし、SNSへ投稿、現地から生中継となりました。LIVETIMEにおいては日本での参加者が前年より増え、さまざまな光の写真や映像を共有できました。アフターパーティーはできませんでしたが、オンラインLIGHTパーティーとなりました。

IALDのHPではToronto, Eastern Canada, Melbourne, New York, New England, Philadelphia, Sydneyでのオンライン開催が紹介されていました。

今回のオンライン開催の状況を踏まえ、2022年とはどのような開催となるのかわかりませんが、コロナ禍があらうとなかろうと、どこにいても誰にいても一人でも大勢でも、年に一度、肩の力を抜いて光の現象や発見をみんなで持ち寄り、語り、繋がるコミュニケーション企画になっていくと考えています。

日時 2021年3月18日
場所 #ialdchasedark (IALD Japan内ではオンライン開催)
主催 IALD



2-7 Event [イベント]

のぞいてみよう! 照明デザイン vol.3

照明デザインに興味を持つ学生に向けたイベントで、照明デザイナーの職能や仕事について、実際に現場で活躍している照明デザイナーがさまざまなエピソードを交えて紹介します。照明デザイナーの魅力や社会的な役割、こういった仕事に携わっているのかについて、現役の若手照明デザイナーにお話を伺いました。

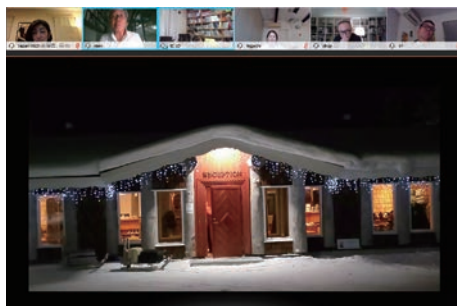
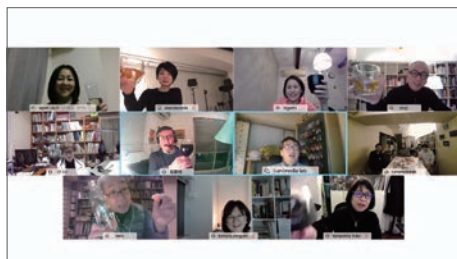
まずシリウスライティングオフィスの戸恒浩人氏より、照明デザイナーが担う社会的な役割についてお話しいただきました。光の体験を通じて人々の生活や時間を充実させ、公共空間を魅力的にすることが照明デザイナーの役割であり、そのためには常に新しい光の表現を試みることが大切だと説明してくださいました。

続いて、2名のパネリストからお話を伺いました。最初は、大学で建築を学んでいたという小林周平氏です。実例を挙げながら、照明デザイナーがどのように仕事に取り組んでいるのか、技術面の説明も含めて教えてください、自分だけの照明デザインを生み出すには、感動的な光に出会う経験・体験の積み重ねが大切だと話してくださいました。次は、マスコミ系の大学を卒業後、一般企業への就職を経て照明デザイナーになったという経歴の持ち主であるバク・ホンジュ氏です。実際に携わったプロジェクトをもとに、シミュレーションや現場の調査、現地での実験の重要性、それらを組み合わせてデザインする緻密な仕事について、丁寧に解説してくださいました。

また「Variety、Versatile、Value」の3つのキーワードをあげ、照明デザイナーという仕事の魅力は、さまざまな人と関わりながら社会に寄与できる照明デザインを生み出すことであり、自分の感受性を高めるために積極的に勉強することの重要性を話してくださいました。

質問コーナーでは「照明デザインの力で、どこまで都市の魅力を生み出すことができるのか」、「シミュレーションで意図していないところで上手くいった経験は?」との質問に対して、自身の考えや現場での経験を話してくださいました。その他にも学生の皆さんの鋭い質問にパネリストのお二人も驚きながら、その熱意に応えるように詳しく回答してくださいました。

日時	2021年8月6日
会場	IALD Japan WEBINAR (オンライン開催)
モデレーター	水馬弘策
パネリスト	小林周平、バク・ホンジュ、戸恒浩人
主催	IALD Japan



2-8 Event [イベント]

コミュニケーションバー InaBar

「InaBar」はIALD Japan事務所のバーコーナーで行われるユニークな「トーク＆バー」。店主である稲葉さんより話題提供者が適宜指名され、毎月第1火曜日(祝祭日、GW、8月は除く)にハイクラスな照明の話題とワインを共に楽しんでいただけます。条件はマイグラスの持参。ソフトドリンクも多種ご用意しておりますのでワインを飲めない方も是非ご来店ください。

2020

第24回：9月1日 『見たかった景色、見ようとする景色』 彌吉泉美さん

第25回：10月6日 『光とセレンディピティ』 目黒朋美さん

第26回：12月1日 『Oh 能!』 岩井達弥さん

2021

第27回：1月5日 『言葉で伝える～あかりの演出』 角田尚法さん

第28回：2月2日 『愉しみとなりわいを行き交う夜』 富田泰行さん

第29回：3月2日 『Soccerに纏わる光と影』 山下裕子さん

第30回：4月6日 『FEEPROPOSAL of Lighting Design と、照明デザイン見積』 金田篤士さん

第31回：6月1日 『照明デザイン業の経営：日本って海外と何か違うの??』 藤井茂紀さん

第32回：7月6日 『光害についてどう考えている?』 服部祐介さん

第33回：9月7日 『コロナウイルスに感染して...』 松本浩作さん

第34回：10月5日 『ぶらり・あらかると～今だから地産地消のスポット紹介』 内原智史さん

第35回：11月2日 『照明学会ってナニ?』 小山憲太郎さん

第36回：12月7日 『みなさんは施行会社の適正見積価格の判断ってどうしてますか?』 菅原千稲さん

各回の詳しいレポートはIALD JapanのWEBサイトに順次掲載していますので、ぜひご覧ください。

コロナ禍の影響でオンライン開催が続いていますが、今後も、会員の皆様のコミュニケーションの場としてご来店をお待ちしています。

日 時	毎月第1火曜日(祝祭日、GW、8月は除く)
場 所	IALD Japan バーコーナー、オンライン
参加人数	IALD Japan バーコーナーに入れるだけ(MAX20名)
主 催	IALD Japan



2-9 Enlighten Asia 2021 in Japan Lighting for new Normal

日時 2021年11月10日(水) 9:30-17:30
2021年11月11日(木) 9:30-20:00
会場 オンライン開催 (Zoom)
主催 IALD Japan

2021年11月10日(水)～11日(木)の2日間にわたり、「Enlighten Asia 2021 in Japan」をオンライン開催。特に今回は、これまでの日本照明工業会と日経新聞社との共催によるライティング・フェアから離れて初のIALD Japan単独開催となりました。Pre-Eventでは当日のセッションに繋がる番組制作と事前配信、開催期間のConferencesではアジア各国を繋いでのライブ中継など、オンラインならではのメリットを最大限に活かす工夫を凝らし、新しい時代のイベントの在り方を探りました。今回は「Lighting for New Normal」をテーマに、IALDメンバーのほかさまざまな分野の専門家を交えてのセッションや、世界6都市の学生によるプロポーザルなど、照明のニューノーマルを探す議論が繰り広げられました。最終日のClosing Session「Hello Asia」ではアジアの11都市を中継で繋ぎ、それぞれの都市の今の様子をリレー形式で紹介。最後にIALD本部のアシュリー・ロビンス氏がビデオレターで挨拶を行い、フィナーレを迎えました。

ENLIGHTEN

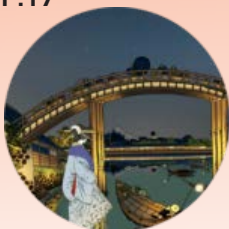


Pre-Event

「Enlighten Asia 2021 in Japan」の本番に先駆け、10月上旬よりIALD Japanの YouTube チャンネル・Tencent Video(腾讯视频)にて、「Discovery of Lighting Design」「All About Lighting Fixtures」「アジアの都市夜景／今と未来」の3カテゴリーで計17本の動画を事前配信。本番では、この動画をもとにディスカッションが行われました。

Discovery of Lighting Design

>>P.17



All About Lighting Fixtures

>>P.18

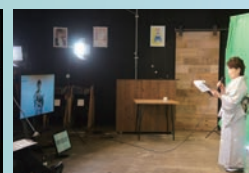
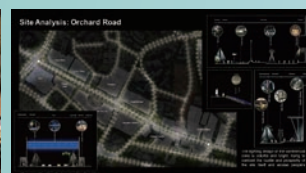
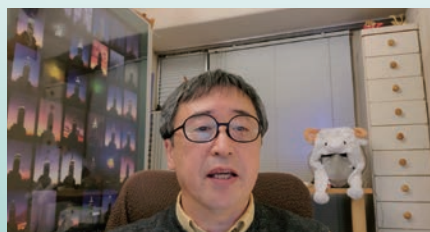


アジアの都市夜景／今と未来

>>P.19



ASIA 2021 In Japan



2-5 Enlighten Asia 2021 in Japan

基調講演

EL01 森の時代



隈 研吾氏 (建築家/隈研吾建築都市設計事務所)

日時 2021年11月10日(水) 10:00~10:30

これまでは大きなオフィスや工場というハコに閉じ込めるのが機能的だと考えられ、社会もまたカタマリの、全体主義的なものへと傾斜していました。しかし、今回のパンデミックによって、カタマリとしての生活から離散的な生活への転機を迎えた今、建築の光についてどのように考えているのか。光を巧みに扱う建築家として評価を得ている隈研吾氏が、自身の仕事をまじえて紹介しました。隈氏が建築の光について関心を持つようになったのは、コロンビア大学の客員研究員としてニューヨークに滞在していた時期。照明デザイナーのエディソン・ブライスと親しくなったことを機に、光が自身の建築にとって大きなテーマとなり、「日本的な光というのは何か」を考え続けていたと言います。GC プロシミュリアム・リサーチセンターの粒子状の部材による空間を例に「日本風の小さな粒子の光を追求していくと、結局それは木漏れ日だと気づいた」と語っています。最後のスライドでは、建築物は固定されたものだけでも、光によって建築物自身が流れていくとか、動いていくとか、揺れているという印象を与えることができるのではないかと話しながら国立競技場の光がデザインされていると話し、講演を締めくくりました。

EL02 光の中に闇を見つける

—世界的な夜の喪失に立ち向かうための責任ある屋外照明デザインの役割



ジョン・バレンティン氏 (元国際ダークスカイ協会 ディレクター)

日時 2021年11月11日(木) 10:00~10:30

他の環境汚染とは異なる「光害」の原因と結果について照明デザインと建築環境の役割に焦点を当てた、元国際ダークスカイ協会ディレクター、ジョン・バレンティン氏によるプレゼンテーションです。夜間環境にある自然に起因しない光を示す「夜間の人工光」は、太陽や月、星などの熱源からの光に適応している生物にとっては、非常に有害であることがわかっています。さらに、現在の都市における「夜間の人工光」の多くは、人間のニーズからかけ離れた場所、時間、量で使用されており、無駄に消費されていることも問題だと指摘。バレンティン氏は屋外環境から完全に「夜間の人工光」をなくすことはできないが、「夜間の人工光」と人間の関係をリセットし、今ほど多くの無駄を生むことなく、競合する利益に適切なバランスを持たせることが大切だと言います。最後にバレンティン氏は、夜間の屋外環境での人工光について再考する方法を紹介。光害の問題は深刻ではあるが解決策はすぐ手の届くところにあり、社会がより良い結果を望むならば、照明デザインが解決に向けた大きな担い手となることができると話し、セミナーを締めました。

2-5 Enlighten Asia 2021 in Japan

パネルディスカッション

EL03

アジアのクリエイターはコロナ後
何をを目指すか

スティーブ・ブラウン氏 (NDYLIGHT)

ホアン・リ・ハ氏 (デザイナー/ShapeUs)

ヨンソ・リー氏 (工学博士/Urban Lighting-Design Partnership)

モデレーター: 近田 玲子氏 (近田玲子デザイン事務所)

日時 2021年11月10日(水) 10:40~11:40

パンデミックが終息した「コロナ後」は照明デザインと視覚環境にとって何を意味するのか? ユーザー体験空間を提供するために人間と空間が共存できる演出方法は? 照明デザインの持続可能性について、3人のパネリストが語ります。最初のプレゼンターで、オーストラリアでデザインディレクターとして活躍するスティーブ・ブラウン氏は、コロナ禍ではマスクの着用やロックダウン、旅行の規制などの新たなルールが登場し、規制に対する人々の強迫観念が見られたと言います。2人目のプレゼンター、韓国のヨンソ・リー氏は、コロナ禍で人々がお互いの感情に触れる機会が希薄になったことを指摘します。3人目のプレゼンターで、ベトナム・ホーチミンを拠点とするShapeUs Studioの設立者ホアン・リ・ハ氏は、このコロナ禍をポジティブに受け止めています。コロナ禍で資材の輸送が停止し、建築界で多くの問題が発生したという状況下で、現地での素材調達や照明の扱い方など、デザインプロセスをクリエイティブに変革していくことの大切さを実感したと言います。最後にモデレーターの近田氏は、3人のプレゼンテーションが「照明デザイナーがコロナ後に何をを目指すべきなのか」を考える機会になればと話し、ディスカッションを終えました。

EL04

照明デザイナーのバブリックポリシー



川添 善行氏 (建築家/東京大学)

田瀬 和夫氏 (SDGインパクト 代表取締役社長)

モデレーター: 小西 美穂氏 (建築照明計画)

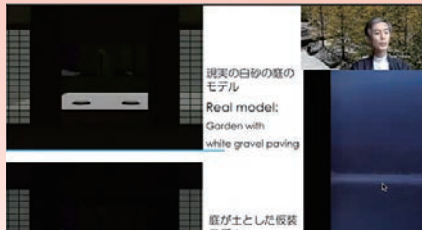
日時 2021年11月11日(木) 10:40~11:40

「ニューノーマル時代に期待される照明デザイナーの役割とは」をテーマに、照明デザイナーの小西美穂氏がモデレーターを務め、建築家である東京大学の川添善行氏とSDGインパクト代表取締役社長の田瀬和夫氏をお迎えして、パネルディスカッションが行われました。「照明とウェルビーイングをつなげる照明デザイナーの職務」について川添氏は、美しい光や見に行きたいとあこがれるようなデザインをつくることだと提起。一方、田瀬氏は、ウェルビーイングの歴史に触れ、物理的条件だけではなく、良く生きていると感じられることが重要だと説明。次のテーマでは「エネルギーの観点で取り組むべきこと」を問われ、川添氏は、世界がよりスマートになるときに、照明デザイナーたちはスマートにやらないで、もっと違う価値を目指すと言います。他にもさまざまなテーマを議論した最後に、「この時代における照明デザイナーの役割とは」と問われ、川添氏は「光はこうあるべきだから、建物はこう変えて欲しい」と言えるようなデザイナーが必要と言い、田瀬氏は「後から明るい照明をつければいい」ではなく、照明デザイナーも時代に合った価値をどんどん出していくことが大切だと締めくくりました。

2-5 Enlighten Asia 2021 in Japan

ショートセミナー

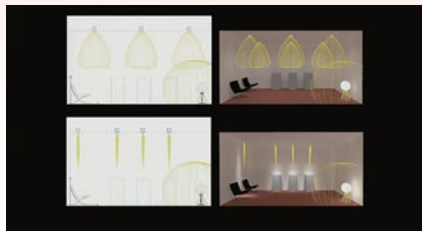
EL05 禅宗様庭園における月明かりの様相



三谷 徹氏(ランドスケープアーキテクト)

古来より、日本では月を愛でる文化があり、さまざまな芸術に取り込まれてきました。それは庭のデザインにも反映され、たとえば禅宗様の白砂敷き庭園は、月明かりを受ける庭の表情を楽しんだと言われています。白砂による月光の反射が、どの程度室内空間に効果をもたらすのか。室町期に作庭された龍安寺の石庭、大徳寺大仙院南庭、正伝寺の庭。江戸期に作庭された詩仙堂、そして銀閣で知られる慈照寺の庭を対象に、実際の月光の反射光効果のシミュレーションと庭園の月明かりが時間とともにどう変化していくのかを検証された三谷氏に『禅宗様庭園における月明かりの様相』についてお話をいただきました。

EL06 照明器具の読み方(機能照明と意匠照明)



伊東 豊雄氏(建築家/伊東豊雄建築設計事務所)
黒川 雅之氏(建築家、プロダクトデザイナー/K&Kデザイントープ)
モデレーター: 小野田 行雄氏(イリス・アソシエーツ)

照明デザイナーの仕事は光によって空間の機能を満足させた上で、情緒的な付加価値を与えることが求められます。存在感を極力抑える機能照明に対して、意匠照明は華やぎや姿形が強く表現される存在感の強い照明器具となっており、作者の多様な想いを持って作られている。そして作者の想いを知る前と後では、その照明器具の見方が大きく変わり、選択する際の重要な決め手となることも数多くあると小野田氏は言います。このセミナーでは『照明器具の読み方』をテーマに、照明器具をデザインされた2名の建築家に作者の想いを伺いながら、照明器具を選択する際の視点を探っています。

EL07 星空と自然環境に配慮した光環境改善



小川 徳征氏(神津島村 産業観光課 課長)
藤岡 健二氏(井原市役所 建設経済部 観光交流課 課長補佐兼観光交流係長)
モデレーター: 越智 信彰氏(東洋大学 准教授/国際ダークスカイ協会東京支部)

美しい星空が残されている地区として、国際ダークスカイ協会の「星空保護区」認定を取得された、東京都・伊豆諸島の一つ神津島と岡山県井原市の山あい・美星町地区。東洋大学の越智信彰氏がモデレーターを務め、神津島村から小川徳征氏、美星町からは藤岡健二氏を迎え、星空と自然、住民生活の共存を目指した動機や取り組みの様子について、アンケート結果もまじえながら紹介。越智氏は、星空保護区の取り組みはメディアやWEBで取り上げられる機会も増え、こうした活動を通して光害の意識の高まり、環境に配慮したこれから照明のあるべき姿について、多くの人が考える機会に繋がればと話しました。

EL08 LEDの功罪



モデレーター: 飯塚 千恵里氏(飯塚千恵里照明設計事務所)

日本では、2011年の東日本大震災以降、一段と省エネルギーとLED化の動きが強まっています。それにより、何が変わったのか、良くなったことは何か、逆に悪くなったことはないのか。それを知るため2021年7月にIALD Japanメンバーを対象にLEDに関するアンケートを行い、34名から回答を得ました。このセミナーでは照明デザイナーの飯塚千恵里氏(飯塚千恵里照明設計事務所)がモデレーターを務め、アンケートをもとにメンバーがさまざまな意見を述べながら、「LEDのメリット」や「LEDのデメリット、悪くなったこと」について考察しています。

2-5 Enlighten Asia 2021 in Japan Discovery of Lighting Design



Discovery of Lighting Design

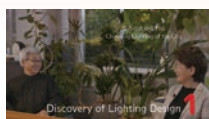
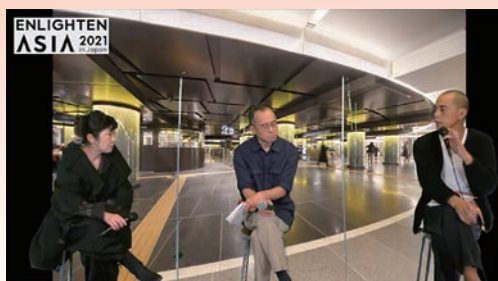
4つのテーマに沿って9プロジェクトを選出。日本国内外の照明デザインの現場を、各デザイナーのインタビューを交えながら紹介。

【第1回】都市が変わる 【第2回】まちの再生

【第3回】モビリティ環境の新たな潮流 【第4回】次世代のチャレンジをさぐる

EL09

Discovery of Lighting Design vol.1



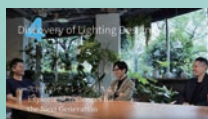
近藤 ヒデノリ氏(情報堂 ブランドイノベーションデザイン局 クリエイティブプロデューサー)
中井 祐氏(土木デザイナー/東京大学大学院 教授)
モデレーター: 長町 志穂氏(LEM空間工房)

日時 2021年11月10日(水) 13:40~14:40

照明デザイナーの長町志穂氏がモデレーターを務め、土木デザイナーの東京大学・中井祐氏と、クリエイティブプロデューサーの近藤ヒデノリ氏のお二人をパネリストに迎え、「プロジェクトから俯瞰する照明デザインの新たな役割」についてディスカッションしています。まず、4つの番組のダイジェスト映像を紹介。感想を求められた中井氏は、光がインフラであることに気づかされたと言言。近藤氏は、地域資源や歴史、物語を引き立てる役割としての照明に変化してきていると感じており、照明デザインが転換点を迎えていることを指摘しています。次に、ニューノーマルを念頭にディスカッションを展開。中井氏は、光がインフラであるとするれば、そこには本来、人間的な場ができるはずなので、「人間らしさ」の側に引き戻す照明デザインやインフラデザインが求められると指摘。近藤氏は、ニューノーマルのクリエイティビティは協働して違う人が力を合わせる「IからWeへのシフト」を想定し、そこに行政も組み込む必要があると言います。最後に、照明デザインの未来について、人間の美醜や強弱、闇といった多面性に対応する夜の空間づくりに向けて、照明のあり方が重要になることを確認しました。

EL10

Discovery of Lighting Design vol.2



マルコ・バランデッラ氏(Lighting Design Workshop)
ヤファイ・チェン氏(Light Poetic International Lighting Designers)
ライナス・ロペス氏(Lirio Lopez Lighting Design Consultants)
モデレーター: 松下 美紀氏(松下美紀照明設計事務所)

日時 2021年11月10日(水) 14:50~15:50

このセッションではイタリア、インド、台湾でそれぞれ活躍するIALDメンバーをパネリストとして迎え、照明デザイナーの松下美紀氏がモデレーターを務め、事前配信された4本の本編の内容をベースに、「照明のニューノーマルを探す」についてディスカッションを行いました。マルコ・バランデッラ氏が都市プロジェクトで重視しているのは、人間をすべての中心に置くことだと述べ、それが動画で紹介されたプロジェクトでは見事に成し遂げられていると評価しています。ヤファイ・チェン氏は、長崎と金沢のプロジェクトで地元の人々がデザインプロセスに深く関わっている点を評価。ライナス・ロペス氏は、市民の視点を理解すること、そして観光客や都市自体のアイデンティティを念頭に置きながら、住民にとっての快適な空間づくりと都市の文化・歴史を正確に理解することが重要であると言及しています。フリートークでは、光と影のバランスの追求、健康的な光環境を構築する挑戦、照明業界における女性進出の加速といった、パンデミック後の照明のニューノーマルについて議論が展開されました。

2-5 Enlighten Asia 2021 in Japan

All About Lighting Fixtures



金田 篤士氏(ワークテクト)
東海林 オースティン 弘靖氏
武石 正宣氏(ICE都市環境照明研究所)
田中 康一氏(LIGHTLINKS INTERNATIONAL LIMITED)
富田 泰行氏(トミタ・ライティングデザイン・オフィス)
早川 亜紀氏 ひじき きなこ(灯デザイン)
目黒 クリスティーン 朋美氏

日時 2021年11月10日(水) 16:00-17:30



Pre-Event

All About Lighting Fixtures

照明デザイナーが、昔から変わらない技法で製造されている照明器具の現場を取材し、その過去、現在、未来を探るプログラム番組。

【第1章】NEW TECH

1. DCV48は照明界のアイドルになれるか?
2. スペクトル由来照明

【第2章】NEW STYLE

3. ANOTHER WORLD
4. NEW FACE

【第3章】BACK TO THE FUTURE

5. どこでもライト!!
6. THE 特注照明
7. 全地球環境的照明器具

EL11

All About Lighting Fixtures

3章からなるこのセッションでは、事前配信された7つの動画をレビューしながら各拠点を繋いでコメントを重ね、照明デザインの立場から照明産業の今日と明日を探るスペシャルイベントを展開。

第1章「NEW TECH (明日の新しい技術を探る)」では、DC48Vの照明システムについての解説や、スペクトル由来照明について、「月夜の富士山の風景」というお題に対してどのように照明演出をするか実演を交えて紹介。舞台照明に使われてきた、光をさまざまな色に変えられるこの技術の可能性について議論しました。

第2章「NEW STYLE (新しい立役者を紹介する)」では、「NEW FACE」としてプリミティブな炎という光源にこだわった「Chouchin Candle」と影の色をデザインする「RGB_Light」をピックアップ。続いて、「ANOTHER WORLD」として、「SAMBA-M」や「JBL Pulse 4」といったユニークなプロダクトを紹介。それぞれのデザインやそれを実現させている技術について語りました。

第3章「BACK TO THE FUTURE (照明の過去に学び未来を考える)」では、南部鉄器の手持ち燭台や小田原提灯から最新のもののまで、持ち運べる明かり「ポータブルライトの過去～現在」を解説しました。次に「CUSTOM : The 特注照明」と題して、伝統技術を生かして開発した照明器具やプロダクトのこだわりについて、作り手自身が紹介しました。最後に「全地球環境的照明器具SDGs in EDO」と題し、静岡県清水区にある「由比宿 東海道 あかりの博物館」を訪問。江戸時代から明治・大正、現在までの照明器具を体験しました。小西氏は、スイッチではなく、手元で自分の欲しい光を能動的にコントロールできること、鎖国でモノが入らない江戸時代にリユース、リペア、リサイクルをする生活サイクルを作っていたことを、現代でもう一度伝えるべきこととして挙げています。

2-5 Enlighten Asia 2021 in Japan

2030 アジア夜間景観プロポーザル
パネルディスカッション
未来のアジア都市夜景

アチャラワン・チュタラート氏(照明デザイナー/ キングモンクット工科大学トンブリ校)
アマデュー・ドゥーガー氏(照明デザイナー/ マニパル・スクール・オブ・アーキテクチャー&プランニング)
イノ・チャ氏(照明デザイナー/ 成均館大学)
遠藤 賢也氏(ランドスケープアーキテクト/ シンガポール国立大学)
川添 善行氏(建築家/ 東京大学)
ザン・シン氏(照明デザイナー/ 清華大学)
モデレーター: 面出 薫氏(ライティング プランナーズ アソシエーツ)

日時 2021年11月11日(木) 13:40-15:10
2021年11月11日(木) 15:20-16:20



「アジアの都市夜景 / 今と未来」

Pre-Event 学生ワークショップによる調査と提案

アジア6都市の学生が各都市の夜間景観を調査。自分の街の照明、あかりの良し悪しを分析し、30分の動画にまとめて発表しました。

【第1回】ウドゥピ(インド)編

【第2回】シンガポール編

【第3回】北京編

【第4回】ソウル編

【第5回】東京編

【第6回】バンコク編

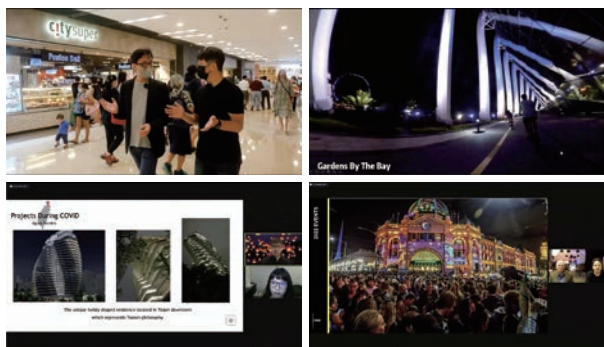
EL12 2030 アジア夜間景観プロポーザル

事前配信されていた『「アジアの都市夜景 / 今と未来」学生ワークショップによる調査と提案』で、アジアの6都市(ウドゥピ(インド)、シンガポール、バンコク、北京、ソウル、東京)の学生がそれぞれの街の夜間景観について調査・分析をまとめ、近未来である2030年もしくは2050年に向けてどうなっていてほしいのかプロポーザルを作成。最後に視聴者に、どのプロポーザルがよかったかを投票してもらいオンライン開催ならではのセッションとなりました。ストーリー仕立てのものから最新技術を使用したもので、各都市ならではのプロポーザルの中から、セッション終了後に行われた視聴者による投票(62名)の結果、ウドゥピ(インド)のプロポーザルが1位に選ばれました。

EL13 パネルディスカッション 未来のアジア都市夜景

学生ワークショップのプロポーザルを受けて、今後アジアの夜間景観がどのように進化していけばよいのかについて考えるパネルディスカッションです。照明デザイナーの面出薫氏がモデレーターを務め、各学生チームの指導教員がパネリストとして参加しました。ディスカッションは「6都市の学生のプロポーザルをどのように評価したか」、「自分の都市について照明の観点でどのように評価しているか」、「アジアの夜景に今後期待すること」という面出氏からの3つの質問を中心に展開。プロポーザルに地域の個性が出ていて評価できるという意見や、コロナ禍の暗い世の中でさまざまなプロポーザルによって明るい未来が見えてきてよかったという意見もあり、アジアの若者同士が交流することでさまざまな視点を学ぶことができ、今回のワークショップのように有意義な連携ができるとの見解が共有されました。

2-5 Enlighten Asia 2021 in Japan Closing Session “Hello Asia”



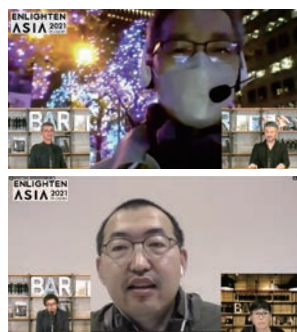
2日間にわたってオンラインで開催されてきた「Enlighten Asia 2021 in Japan」を締めくくるクロージングセッションをスタジオからライブ配信。“Hello Asia”のテーマのもと、アジアの11都市を中継で繋ぎ、それぞれの都市の今の様子をリレー形式で紹介しながら、各地の照明デザイナーの苦労や現在の状況下での光と人の寄り添い方を伝えます。

まず、日本国際照明デザイナーズ協会理事で照明デザイナーの面出薫氏による挨拶のあと、オーストラリア・メルボルンのデビッド・バード氏とジャクソン・スティグウッド氏が登場。続いて、シンガポールのトー・ヤー・リー氏、香港のクリストファー・モック氏、台北のウノ・ライ氏とサブリーナ・ベン氏、北京のザン・シン氏、ソウルのミー・ジョン氏が各地の様子を報告しました。

日本からは5か所を中継。福岡・糸島市の長野地区での町ぐるみのイベントを紹介した増田司氏、大阪からは松本浩作氏が御堂筋のイルミネーションをレポート。札幌の遠藤香織氏は、観光業に関連した照明デザインの仕事の影響について語り、仙台の梅田かおり氏は、秋保の天守閣自然公園から自身が手がけたライトアップイベント「秋保ナイトミュージアム」を解説。そして、石井幹子氏は、東京タワーの「インフィニティ・ダイヤモンドヴェール」や日本武道館の大屋根など、オリンピックに合わせて東京で実現されたプロジェクトを紹介。LEDを活用して東京のダイナミズムや日本の文化の継承を表現するとともに、次の世代に向けたグリーンエネルギーの重要性を考えた照明デザインを行う重要性を説きました。

最後に、IALD本部のアシュリー・ロビンズ氏がビデオレターで挨拶を行い、ニューノーマル時代におけるアジアでの照明業界の発展を期待していると述べ、フィナーレを迎えました。

日時 2021年11月11日(木) 18:00-20:00



CHAPTER

03

組織運営

3-1	委員会の概要と設置の目的	22
3-2	IALD Japan メンバーリスト	23
3-3	IALD Japan News	26
3-4	About IALD Japan	27
3-5	世界のIALDメンバー	28
3-6	入会案内	30
3-7	第8期に向けて	31
3-8	協賛企業	32

3-1 委員会の概要と設置の目的

協会の事業運営は総会、理事会、5種類の委員会、事務局によって構成されています。理事会は現在11名の理事と2名の監事で構成され、協会運営の方針と事業を決定します。5つの委員会はそれぞれ理事と会員有志によって組織され、年間の活動計画を立案し協会内外での積極的な活動を行います。委員会の代表はそれぞれの委員会によって適時に選出され、その運営に当たります。

日常の運営では、2名の事務局員と本部から任命されたリージョナルコーディネーター1名が会員の活動をサポートしています。

総 会

協会運営の総意を諮るための最高決議機関です。事業計画や決算内容を承認し、活動方針に対する意見の交換を行うための定時総会と、会員相互の親睦や研修を目的として開催される臨時総会を運営しています。

理 事 会

総会で選出された11名の理事と2名の監事、各委員会代表によって構成されています。業務運営委員会と密接に連携し、協会の運営方針を積極的に検討します。ここでは総会に諮るべき議案以外の重要案件を審議し決定します。

業務運営委員会

代表理事、副代表理事、専務理事、財務担当理事、事務局担当で構成し、協会の運営やマネジメント全般を管理し、理事会に諮問すべき事項を検討し、協会運営や財務の健全化を図ります。

研修委員会

会員の意識と能力の向上を図るための会員向け研修と、広く照明業界や社会全般に向けた啓蒙的研修プログラムを実施します。また学生を中心とした教育プログラムを企画し、未来の照明デザイナーを育てます。

広報委員会

協会の広報活動として最も重要な Web サイトやソーシャルメディアを積極的に企画運営しています。さらに年間のさまざまな協会活動を広く広報するために、「IALD Japan アニュアルレポート」を編集発行しています。

メンバーシップ委員会

会員資格は IALD 本部のフェロー、プロフェッショナル、アソシエート、の他に賛助、教育者、ジュニア、学生などの会員を含みます。この委員会は新規会員を募るための広範な活動を行います。さらに会員相互の親睦を深めるための活動も企画実行します。

Enlighten 委員会

2013年より始まった隔年開催の国際大会「Enlighten Asia in Japan」を企画します。協会が開催する最大イベントでもあるため恒常的な企画運営が必要になります。実施には実行委員会が、この企画委員会の方針のもとに隔年ごとに組織されます。

事務局 + リージョナル コーディネーター

事務局員は、会員へのサポート、関連団体との連携、IALD本部（米国シカゴ）との連絡業務、理事会や委員会活動への協力などを行います。

また、IALD本部から任命されたリージョナルコーディネーターは本部会議に出席し、日本と本部との連携を図ります。

代表理事：近田 玲子
副代表理事：東海林 弘靖
副代表理事：武石 正宣
専務理事：松下 美紀

理 事： 角田 尚法
小西 美穂
内木 宏志
永島 和弘
長町 志穂
面出 薫
彌吉 泉美
監 事： 富田 泰行
松本 浩作

スタッフ
事 務 局： 瀧 ゆう子
清水 安芸

リージョナル
コーディネーター： 小西 美穂

3-2 IALD Japan メンバーリスト

[50音順]

F フェロー会員
 A アソシエイト会員
 E エデュケーター会員
P プロフェッショナル会員
 AF アフィリエイト(賛助)会員
 S 学生会員

A 青木 千春	株式会社 仁設計	https://www.jindesign.co.jp
A 飯塚 千恵里	飯塚千恵里照明設計事務所	
A 池田 俊一	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
F 石井 幹子	株式会社 石井幹子デザイン事務所	http://www.motoko-ishii.co.jp
P 石田 聖次	LIGHTSCENE	http://www.lightscene.jp
A 板倉 厚	Lighting Planners Associates (HK) Ltd.	http://www.lighting.co.jp
A 伊藤 達男	有限会社 伊藤達男照明デザイン研究所	http://itoolight.on.coocan.jp
A 稲葉 裕	株式会社 フォーライツ	
P 岩井 達弥	Lumimedia lab Inc.	http://www.lumimedia.jp
A 上田 夏子	nipek	http://www.nipek.jp
A 内野 春佳	株式会社 ワークテクト	http://www.worktech.co.jp
A 内原 智史	有限会社 内原智史デザイン事務所	http://www.uclid.co.jp
A 梅田 かおり	ライティングデザインスタジオ LUME	http://www.studiolum.com/
A 遠藤 香織	Kaori Endo Lighting Design	https://www.kaoriend.com
A 大津 敏秀	有限会社 大津電設	
A 大好 真人	大好照明 株式会社	https://www.daisukilight.com
A 岡本 賢	Ripple design	https://ripple-design.jp
A 岡安 泉	株式会社 岡安泉照明設計事務所	https://www.ismidesign.com
P 小野田 行雄	有限会社 イリス・アソシエーツ	http://iris-a.com
A 加賀美 鋭	株式会社 GK設計	http://www.gk-design.co.jp/sekkei
A 角田 尚法	maxview一級建築士事務所	http://www.max-view.jp
A 角館 政英	ぼんぼり光環境計画 株式会社	http://www.bonbori.com
P 金田 篤士	株式会社 ワークテクト	http://www.worktech.co.jp
A 上村 悠	有限会社 レイデザイン	http://www.raydesign.jp
P 川端 章彦	dpa lighting consultants Japan LLP	http://www.dpalighting.com
A 木下 美沙	Mist Light Design, LLC	https://mistlightdesign.jp
A 久保 隆文	株式会社 Mantle	http://mantle-d.com
A 窪田 麻里	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 黒瀬 俊英		
A 黒田 茜	LIGHTDESIGN INC.	https://www.lightdesign.jp
A 黄 思濛	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp

3-2 IALD Japan メンバーリスト [50音順]

P	小西 武志	ALG (建築照明計画 株式会社)	http://alg.jp
A	小西 美穂	ALG (建築照明計画 株式会社)	http://alg.jp
A	小山 憲太郎	コヤマケンタロウデザイン事務所	http://koyamadesign.jp
P	澤田 隆一	有限会社 サワダライティングデザイン&アナリシス	http://slida.co.jp
P	東海林 弘靖	LIGHTDESIGN INC.	https://www.lightdesign.jp
AF	水馬 弘策	D.C.Works	
A	菅原 千稲	フィラメント	http://filament.main.jp
A	瀬川 佐知子	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A	高山 直樹	株式会社 松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
P	武石 正宣	ICE都市環境照明研究所	http://www.ice-pick.jp
A	田中 圭吾	株式会社 ライトモーメント	http://lightmoment.jp
A	田中 謙太郎	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A	田中 康一	LIGHTLINKS INTERNATIONAL LIMITED	http://www.lightlinksltd.com
A	田中 裕美子	ゾネ	
A	垂水 茂喜	有限会社 レイデザイン	http://www.raydesign.jp
F	近田 玲子	株式会社 近田玲子デザイン事務所	http://www.chikada-design.com
A	東宮 洋美	株式会社 ライトスケープ・デザイン・オフィス	http://www.ido.co.jp
A	戸恒 浩人	シリウスライティングオフィス	http://www.sirius-ltg.com
A	富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス	http://www.tldo.jp
P	内木 宏志	株式会社 ナイキデザイン事務所	http://naikidesign.com
AF	中島 一秋	ライティングラボラトリー	http://lightinglaboratory.co.jp
A	永島 和弘	合同会社 チップス	http://www.chipsss.com
A	中島 龍興	中島龍興照明デザイン研究所	http://www.ne.jp/asahi/nakajima/lighting
A	永田 恵美子	ku:kan light	
A	中谷 太郎	*CYPHER	http://www.cypher-d.com
A	永津 努	株式会社 フェノメノンライティングデザインオフィス	http://phenon.jp
A	長町 志穂	LEM空間工房	http://www.lem-design.com
A	中村 美寿々	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A	中村 元彦	株式会社 松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
A	野澤 寿江	株式会社 近田玲子デザイン事務所	http://www.chikada-design.com
A	バク・ホンジュ	株式会社 松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
A	橋本 八栄子	MYNA Design & Craft Pte Ltd	https://www.myna.com.sg

F フェロー会員 A アソシエイト会員 E エデュケーター会員
P プロフェッショナル会員 AF アフィリエイト(賛助)会員 S 学生会員

A 服部 祐介	Lighting Planners Associates (S) Pte Ltd	http://www.lighting.co.jp
E 馬場 美次	馬場美次デザイン室	http://www.yoshiji.com
A 早川 亜紀	灯デザイン	http://www.toh-design.com
A 原田 武敏	焰光景デザイン	http://www.homura-lsd.com
AF 東 悟子	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 福多 佳子	中島龍興照明デザイン研究所	http://www.ne.jp/asahi/nakajima/lighting
A 藤井 茂紀	nipek	http://www.nipek.jp
A 本多 由実	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 真壁 智香	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 眞崎 雅子	有限会社 スタイルマテック	http://www.style-matec.co.jp
A 増田 司	マสดデザイン	
P 松下 美紀	株式会社 松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
A 松本 浩作	有限会社 スタイルマテック	http://www.style-matec.co.jp
A 馬渡 秀公	マワタリデザイン	
A 村岡 治彦	村岡治彦デザイン事務所	http://www.muraokadesign.com
A 村岡 桃子	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 村角 リーダー千亜希	スパンコール	http://www.spangle.jp
A 目黒 朋美	トモルデザイン・メグロ 株式会社	http://www.tomoru-design.co.jp
F 面出 薫	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
P 森 秀人	株式会社 ライティングM	http://www.lighting-m.co.jp
A 八木 弘樹	有限会社 内原智史デザイン事務所	http://www.uclld.co.jp
A 安田 真弓	Speirs + Major KK co-lab Shibuya Cast.	
A 山下 裕子	有限会社 ワイ・ツー・ライティングデザイン	
A 山本 幹根	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 彌吉 泉美	株式会社 彌吉泉美照明デザイン	http://www.izu-lighting.com
E 吉澤 望	東京理科大学 理工学部 建築学科	
A 吉野 弘恵	アカリ・アンド・デザイン	http://www.akari-d.com
A 吉村 美子	LIM LIGHTING DESIGN	
A 林 虎	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 綿貫 真由美	有限会社 内原智史デザイン事務所	http://www.uclld.co.jp
S 学生会員 1名		

(2021年12月末現在)

3-3 IALD Japan News

Enlighten Asia 2021
in Japan
単独開催

今号で特集されているとおり、2021年11月10日～11日のEnlighten Asia 2021 in Japanは、これまでの日本照明工業会と日経新聞社との共催によるライティング・フェアから離れて初のIALD Japan単独開催となりました。特設WEBサイトの開設や、当日のセッションに繋がる番組制作と事前配信、アジア各国を繋いでのライブ中継など、オンライン開催ならではのメリットを最大限に活かす工夫を凝らし、新しい時代のイベントの在り方を探りました。

IALD Japan
独自の会員資格を新設

学生会員の継続的な活動を支援するため、2020年10月にIALD Japan独自の会員資格「IALD-J学生会員」を新設しました。対象は、1年以上一定の活動に参加したと認められる元学生会員です。

この学生会員は、以下の条件のもと卒業後2年間年会費なしにIALD Japanの活動に参加できます。

【条件】

- －IALD本部奨学生への応募は不可。
- －IALD JapanアニュアルレポートやWEBサイト上に氏名の記載はされない。

Instagram投稿

2020年12月より月毎のテーマに沿った写真をInstagramに投稿する活動を続けています。

過去には「#クリスマス」「#sunrise/日の出」「#心が安らぐおうちのあかり」「#光と影のレイヤー」「#風光る」「#こもれび」「#雨と光」「#the city lights」「#日本の夏の風物詩」「#夕刻」などで、担当メンバーが思い思いの光の写真を投稿しています。

イベントのお知らせなどの投稿もございますので、是非フォローしてください。



3-4 About IALD Japan

IALD リージョナル
コーディネーター

IALDには、本部のある米国シカゴを中心に35以上のリージョン(地区)とチャプター(支部)があり、それぞれのコーディネーターが地域の活動が活発に行われるよう取り組んでいます。現在アジアパシフィックでは、日本、中国、東南アジア、インド、オーストラリア、ニュージーランドをそれぞれのコーディネーターが担当しています。特に日本は米国外で最大の会員数を有し、現地法人化されたこともあり、その役割を期待されています。日本のリージョナルコーディネーターは、ボランティアという立場で、日本における会員活動のサポート、シカゴ本部への活動報告、本部からの情報を日本の会員へ伝えるなどの役割を担い、日本での活動が円滑に進むようIALD Japan事務局と連携を取りながら活動しています。

IALD Japan
事務局

担当スタッフが、IALD Japanリージョン・リージョナルコーディネーターと連携しながらIALD Japanの事務局業務を行っています。協会の目的である業界の発展に寄与するための活動サポート拠点として、以下の業務を行っています。

-
1. 国際照明デザイナーズ協会(IALD)本部とのやりとり
 2. 会員サポート
 3. イベント開催に関する取りまとめや諸手続き
 4. その他当協会運営に関するさまざまな業務

会員および外部の方からのお問合せはこちらで承っていますので、各種資料、会員登録、イベント、その他本協会に関するご質問はメール、電話にてお気軽にお問合せください。

業務時間：10：00～17：00（月～金）土日祝日は休み

会員の皆様にはミーティングやコミュニケーションの場として開放しておりますのでお気軽にお立ち寄りください。

※新型コロナ対策のため、一時的にcrafTec内の事務所のオープン時間等が変更になっておりますので、お越しの際は事前にご連絡ください。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター5階 crafTec内
tel：03-6277-1764 fax：03-6277-1769
E-mail：info@iald-japan.jp <https://iald-japan.jp>

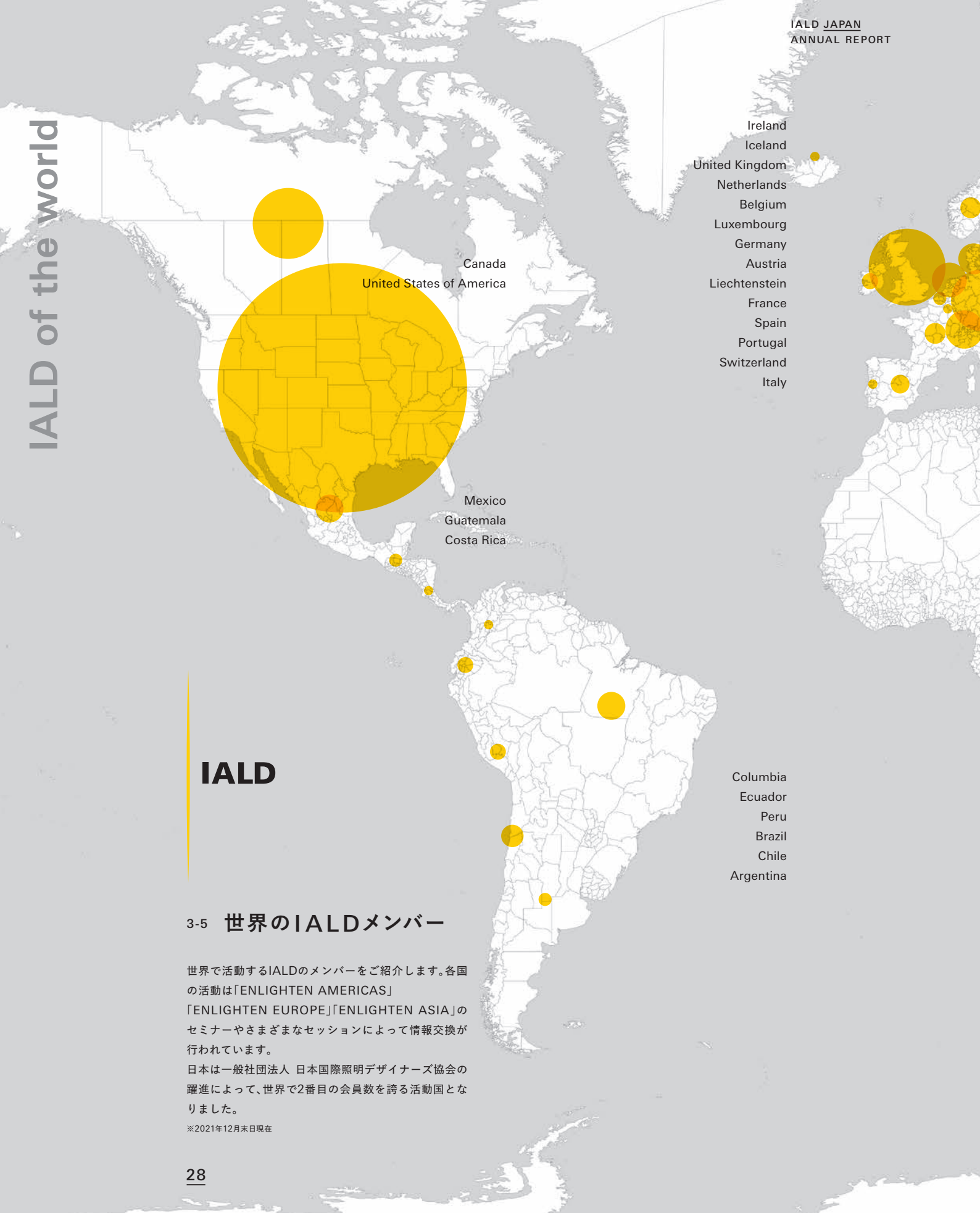
IALD

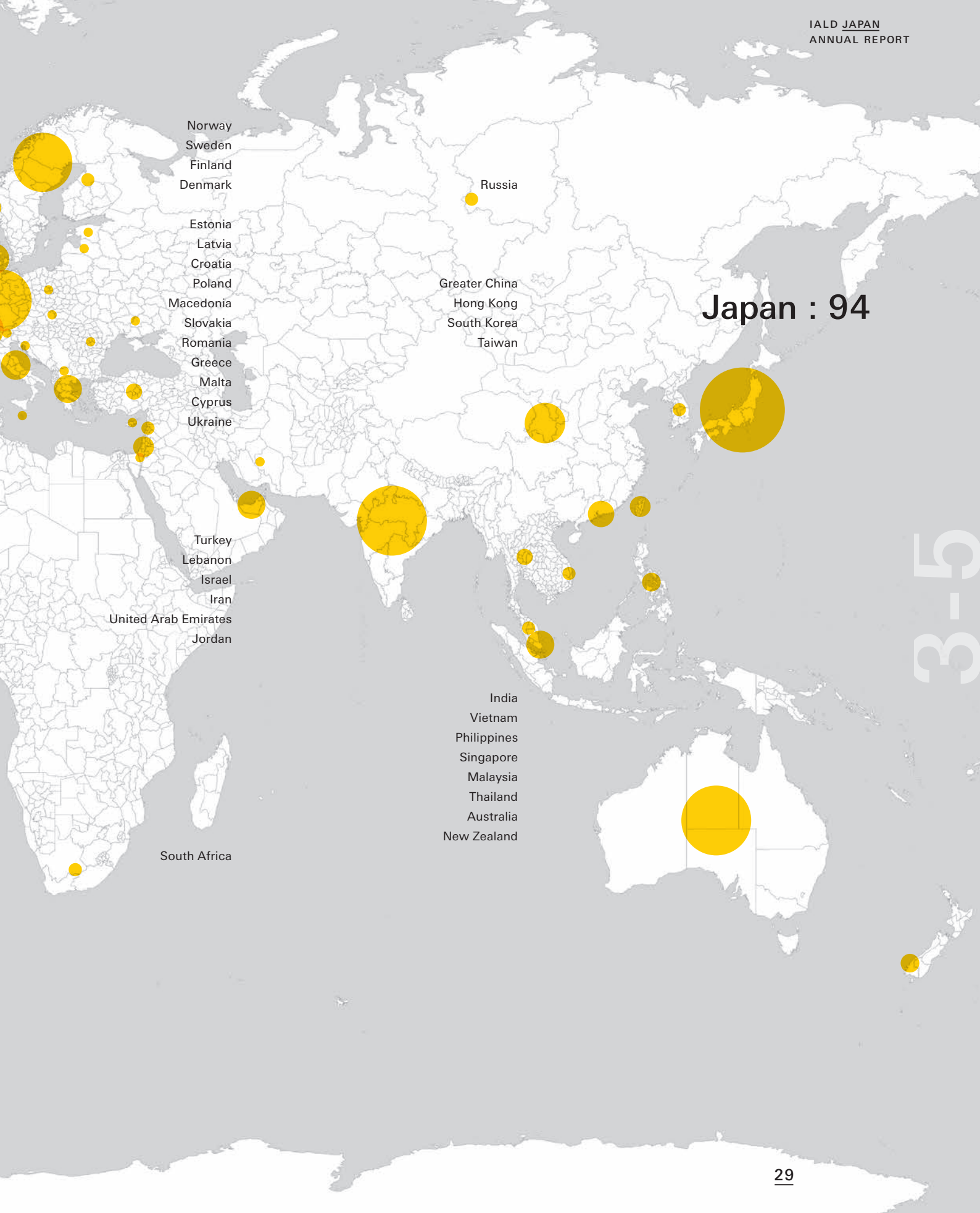
3-5 世界のIALDメンバー

世界で活動するIALDのメンバーをご紹介します。各国の活動は「ENLIGHTEN AMERICAS」「ENLIGHTEN EUROPE」「ENLIGHTEN ASIA」のセミナーやさまざまなセッションによって情報交換が行われています。

日本は一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会の躍進によって、世界で2番目の会員数を誇る活動国となりました。

※2021年12月末日現在



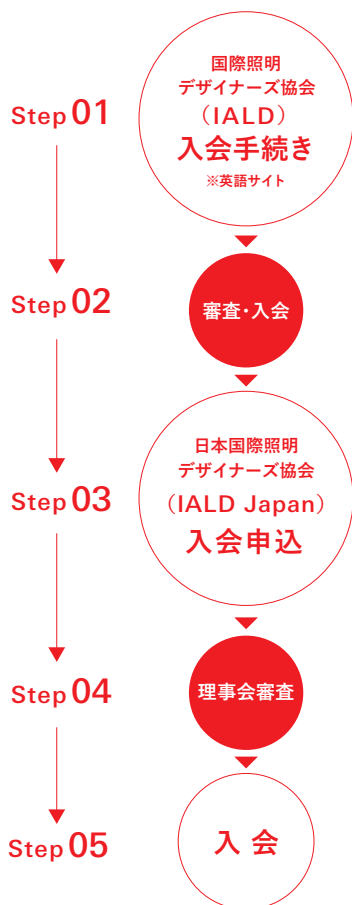


3-5

3-6 入会案内

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 (IALD Japan) では、新規の会員を随時募集しています。

入会までの手順



入会特典

入会された会員には、以下のような特典があります。

- ・ 国際的な展示会への参加
- ・ 協会が主催するシンポジウムやセミナー等への参加資格
- ・ 照明デザインに関するさまざまな情報の共有
- ・ その他 照明デザイナーとしての業務に関するサポート

会員種別

会員には以下の種別があります。

- ・ フェロー会員
- ・ アフィリエイト(賛助)会員
- ・ プロフェッショナル会員
- ・ ジュニアアソシエイト会員
- ・ アソシエイト会員
- ・ エducーター会員
- ・ 退職会員
- ・ 学生会員
- ・ 名誉会員

会員資格

会員資格を得るには、米国の国際照明デザイナーズ協会 (IALD) に事前に加入する必要があります。

- ・ 入会時に国際照明デザイナーズ協会 (IALD) の会員資格を有していること
- ・ 日本国籍を有する個人、または日本に在住する個人であること

詳しい手続きにつきましては、一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター 5階 crafTec内
tel: 03-6277-1764 fax: 03-6277-1769
E-mail: info@iald-japan.jp https://iald-japan.jp

3-7 第8期に向けて

第8期は、Enlighten Asia 2021 in Japan オンライン開催を通して得たものをさらに深める活動を展開していきます。

「だれでも参加できる楽しい会」をテーマにさまざまなイベントを企画中ですので、皆様奮ってご参加ください。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会

副代表理事 東海林 弘靖 Hiroyasu Shoji

副代表理事 武石 正宣 Masanobu Takeishi

第8期 活動計画

2021年

第1回理事会

定時総会

Enlighten Asia 2021 in Japan

第2回理事会

コミュニケーションバー InaBar

2022年

第1～2回 臨時総会

第3回 理事会

WEBINAR

学生向けセミナー

コミュニケーションバー InaBar

3-8 協賛企業

IALD Japanの2021年の活動は、
下記の34社にご協賛いただき行われました。

Diamond

株式会社 遠藤照明
コイズミ照明 株式会社
大光電機 株式会社
パナソニック 株式会社 ライフソリューションズ社
(現 パナソニック 株式会社 エレクトリックワークス社)
株式会社 モデュレックス



Platinum

岩崎電気 株式会社
ウシオエンターテインメントホールディングス 株式会社
株式会社 KKDC-JAPAN
DNライティング 株式会社
株式会社 ルーチ



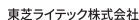
Gold

スタンレー電気 株式会社
株式会社 ネオ・ストラクト
ルートロンアスカ 株式会社



Silver

エイテックス 株式会社
SD Lighting 株式会社
カラーキネティクス・ジャパン 株式会社
KOYA JAPAN Lighting 株式会社
株式会社 電産企画
東芝ライテック 株式会社
トキ・コーポレーション 株式会社
トライト 株式会社
ナカ工業 株式会社
株式会社 FEELUX JAPAN
マーチンプロフェッショナルジャパン 株式会社
三菱電機照明 株式会社
株式会社 森川製作所
株式会社 YAMAGIWA
山田照明 株式会社
株式会社 ライティング創
ライトアンドリヒト 株式会社
株式会社 LIXIL
株式会社 Linea Light
ルイスポールセンジャパン 株式会社
株式会社 ルーメンジャパン



[50音順]



Japan International
Association of
Lighting Designers

2021

IALD JAPAN

ANNUAL REPORT

Vol.07

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
アニュアルレポート

[2020年9月 — 2021年12月]

[発行日]	2022年2月19日
[企画・監修・発行]	一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
[編集]	IALD Japan 広報委員会
[編集協力・デザイン]	株式会社 大伸社ディライト
[印刷・製本]	株式会社 ライブアートボックス
[発行・発行所]	一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター5階 crafTec内 tel:03-6277-1764 fax:03-6277-1769 E-mail: info@ialdjapan.jp https://ialdjapan.jp

